

2025年度
NPO法人 ネットワーク・フェニックス
活動計画書



<http://npo-phoenix.jp>

2025年4月1日～2026年3月31日
(令和7年) (令和8年)

1. 設立趣旨・目的

この法人は、ふるさと長岡が魅力ある街となり、子どもたちが誇りを持って育っていきけるような様々な活動を行い、全国へ向け発信することによって、新潟県全体の経済を活気付け、新しい長岡のブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献する事を目的とする。

訪れる人にとって魅力的な街であること
それは、子どもたちが誇りをもって暮らせる街
そして、創り出せるのは唯一我々の思いから・・・

2. 本年度活動方針

『20年間の支援に感謝。そして次世代へ』

2005年、新潟県中越大地震からの復興を願い、長岡の空に初めて復興のシンボル「フェニックス」が舞い上がりました。あれから今年で20周年の節目の年となります。今まで多くの方々からの支援に感謝し、これからの次世代にフェニックスの思いをつないで参ります。我々NPO法人ネットワーク・フェニックスは前項にある不変の目標である設立趣旨を基本として、当法人の3つの柱の事業である

【長岡花火発信事業】・【花火打上支援事業】・【プロジェクト事業】

についてこれからも存続・発展を目指し、あらゆる環境変化にも対応し活動して参ります。

去年は、新たな支援を広げ、市外県外の多くの方々にフェニックス花火の事を知ってもらうために、クラウドファンディング、豊田小との取り組みなど精力的に活動して参りました。また、震災から20年の節目の年に、能登地震からの復興を願う花火としての「希空」を前奏曲として使用した「復興祈願花火フェニックス20th特別バージョン」を打ち上げることができました。

中越地震からの復興を願い始めて打ち上げられたフェニックスは、今では全国あらゆる所で発生する震災・災害に傷ついた人々を元気にする存在、まさに「復興のシンボル」として、これからもフェニックス打ち上げ続けていかなければいけないという使命を感じ、これからもさらに輪を広げ、ネットワークとして巻き込み、精力的に活動をしていきたいと思っています。

3. 重点項目

- (1) 次世代への発信強化
- (2) 更なる情報発信と支援拡大の強化
- (3) 組織の強靱化

4. 活動概要

(1) 「長岡花火発信事業」～長岡の誇りを次世代に～

戦災や自然災害からの復興を遂げた長岡市。その復興魂から生まれた長岡まつり大花火大会やフェニックス花火を築き上げた先人たちの心を、我々は次代を担う子どもたちに出張授業という形で伝えて参りました。昨年は豊田小との総合学習の取り組みを通じて、次世代の可能性をより深く信じるきっかけとなりました。本年はフェニックス打上 20 周年の節目の年。更に次世代への伝播を強化して参ります。

【具体的重点事項】

- ・学校での出張授業の拡大（情報発信の強化）
- ・インターネット・SNS などを活用した情報発信の実施

(2) 「花火打上支援事業」

～フェニックス 20 周年の節目にさらに情報発信を強化していく～

① フェニックス花火協賛金募金事業

2004 年 10 月 23 日の新潟県中越地震からの一日も早い復興を祈願し、またご支援いただいた多くの方々への感謝のシンボルとして「復興祈願花火フェニックス」と題し、世界一として誇れるような壮大な規模の花火を打ち上げ実現することができました。

昨年は新たな取組として「クラウドファンディング」を実施しました。協賛金の拡大につながった以上に、市外県外の多くの方々へ、長岡花火の事、フェニックス花火の事を広く知っていただき、一人でも多くの方々に応援していただいたことが成果となりました。

本年度もクラウドファンディングの実施を致します。また C F のみならず 20 周年の節目に現状のあらゆる募金活動を見直し、発展をしてみたいです。

【具体的重点事項】

- ・クラウドファンディングなど新たな取組による募金の意義の伝播
- ・現状の募金活動の見直しと活動の拡大

② 長岡まつり大花火大会フェニックス席の設営・運営業務

長岡まつり大花火大会会場のフェニックス席は、大学生を中心としたボランティアスタッフにより、設営・運営しております。ただ当日の人員としてのボランティアではなく、県内外から集まる大学生ボランティアに長岡の誇りである花火とフェニックス花火の想いを広く伝え、当日の活動への協力がフェニックス花火の協賛につながっている事を理解してもらう事に意義があるものと考えております。今年度も IVUSA(国際ボランティア学生協会)、長岡造形大の学生を軸とし、更に新たなボランティアの輪を広げ、多くの若い世代にフェニックス花火の想いを伝えて参ります。そして、フェニックス席以外でのボランティアスタッフの活動も模索し、長岡まつり大花火大会の運営に協力して参ります。

【具体的重点事項】

- ・ボランティア活動を通じた学生への啓蒙活動の実施
- ・他大学のボランティアスタッフの拡大の取り組み
- ・当日のオペレーションの再構築

(3) 「プロジェクト事業」～事業を通じた地域の活性化への寄与～

長岡には長岡花火をはじめ、歴史、文化、自然、景観、特産物など多くの地域資源を有しております。これらの地域資源を発掘し、光を当てることにより地域の魅力や価値の向上を図り、更なる地域の活性化を目指します。その活動を通じて様々なネットワークを構築し、地域を盛り上げて参りたいと考えます。

本年度は 2023 年以来の米百俵フェスが時季と会場を変え実施されます。米フェスを通じた地域活性化に貢献できるよう活動して参ります。

- ・おもてなし事業（フェニックス席での飲食ブースの設営）
- ・その他新規事業の模索・検討
- ・フェニックス関連グッズなどの開発販売

(4)「中心市街地活性化事業」(まちなか情報発信事業)

・大型LEDビジョン「まちかどフェニックスビジョン」を活用した情報発信を行って参ります。(長岡まつり・ホコ天などでの活用、地域企業のPRや商品・イベント情報の発信ツールとしての活用ルートの模索など)

(5)「委託運営・ソリューションサービス事業」

・市民、行政、企業が求めるサービス・事業が多様化する中、様々な問題の解決や要求の実現を行うための事業・活動を行って参ります。